

小学校 レポートについて

今年度の研究主題は、「豊かな感性にときめく心を～互いに学び合い、高め合う多様な学習活動のあり方～」となりました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、学習内容がかなり制限された中で行われたため、指導案作成ではなく、実践できた内容を「授業実践報告」として個人で作成しまとめました。今年度は、昨年度ほどの状況ではないことから、基本は一昨年同様の研究授業を行うこととしますが、研究授業を実施できなかった場合は、昨年と同じく一人一案「授業実践報告」を作成していただくこととなります。

また、今年度は北広島と石狩は教材紹介、レポートが恵庭と江別となっておりますので、恵庭と江別の先生方は、こちらの「小学校指導案の書き方について(例)」をご参考に指導案を中心としたレポートを作成してください。

指導案の書き方については、一昨年度と形式は変わりません。（「音楽づくり」の指導案を例示させていただきます。）ご不明な点がございましたら、研究員中野（北広島市立西の里中学校）までお問合せください。

第3学年音楽科学習指導案

日 時 ○○年○月○日
児 童 ○○○○小学校
○年○組○○名
指導者 ○ ○ ○ ○

1. 題材名 よびかけっこで森の音楽をつくろう
2. 題材の目標 ○森の情景をイメージしながら、問と答えを生かして音楽をつくる。
○始め方や終わり方、曲全体の流れを工夫し、まとまりのある音楽をつくる。

児童の実態や、指導書などを参考にしてください。

3. 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 問いと答えを生かし、始め方や終わり方、速度や強弱などの音楽の仕組みを工夫して、まとまりのある音楽をつくっている。また、音楽を形づくっている要素を聴き取り、楽曲の構造や特徴を理解している。 | 問いと答えを生かし、互いの音のつながりや重なりを感じ取りながら、始め方や終わり方、速度や強弱を工夫し、音を音楽に構成するための試行錯誤をして、どのように音楽を作るかについて自分の考えや願い、意図を持っている。 | 森のイメージをもとにして、いろいろな音楽表現や楽曲の特徴、演奏のよさに興味・関心をもち、音楽をつくる活動に主体的に取り組もうとしている。 |

教師の願い、本時での児童につけさせたい力や、そのための活動や手立て・到達すべき目標などを記述します。

4. 指導計画と評価計画（5時間扱い）

| | 指導内容 | 観点別具体の評価規準 | | |
|-----------|--|--------------------|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に取り組む態度 |
| 1 | ○森のイメージを膨らませる。 ・森の情景写真（春夏秋冬すべて）を見せる。 ・参考曲「森の水車」を聴く。 ○グループごとに森の情景をイメージマップで表す。 ・森の「季節」を想像する。 ・楽譜の役割分担をする。 | | 音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成するための試行錯誤をしている。 | 森のイメージを膨らませ、進んで学習に取り組もうとしている。 |
| 2 | ○イメージした森の季節ごとにグループに分かれ、イメージした森の情景について話し合う。 ・リコーダーで、問いと答えのメロディを考える（ソラシレの音のみ）。 ・イメージに合った楽器を考える。 | 色々な打楽器の奏法がわかる。 | 自分のイメージした森の季節や森の音をイメージマップや簡単なお話に表している。 | |
| 3 (本時) | ○イメージに合わせて楽器を選び、練習をする。 ・前時に考えたリコーダーのメロディと合わせて即興的に表現する。 | 色々な楽器の奏法がわかる。 | 音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成するための試行錯誤をしている。 | 音楽づくりの活動に主体的に取り組もうとしている。 |
| 4 | ○ペアグループごとに聴き合い、アドバイスをし合う。 ・自分たちの森のイメージを伝え、前時に作った音楽を演奏する。 ・聴き合ったことを互いに出し合い、工夫を取り入れて練習する。 | 色々な楽器の奏法を工夫し、演奏する。 | | 他のグループからのアドバイスで、自分たちが取り入れてみたいことを話し合い、練習する。 |
| 5 | ○クラス全体で発表会をする。 ・反復、変化、音の重なりなどの工夫を聴き合う。 ・お互いの森の音楽で、よかったところを出し合う。 ・聴いた感想をまとめ、これまでの学習を振り返る。 | | グループごとにイメージした森の音楽を音楽の要素を生かし、表現することができる。 | 自分の思いを生き生きと音楽で表現しようとしている。 友達の演奏に興味関心をもち、共同的な姿勢で鑑賞している。 |

5. 教材名 「森の音楽」

6. 教材観

この教材は、森の情景をイメージし、リコーダーや打楽器の問いと答えを生かして音楽を作る活動である。リコーダー導入時の「シラソでリレー」（シラソを使い、友達と問いと答えを工夫してリコーダー演奏する活動）を生かし、その発展として、打楽器、ドローン（支えとなる伸ばす音）、オスティナート（繰り返される同一音型）が増えている。ウの①ドローン、ウ②のオスティナートの上で、リコーダーでソラシレの音を使って旋律を作ったり、打楽器を用いたりして友達と問い答えを工夫しながら呼びかけ合うように音楽を作っていく。何分の何拍子など正確な拍子を設定する必要はないが、ウ②のオスティナートは、拍の流れや速さを左右する重要な役目となる。

7. 共通事項との関わり

本教材では、共通事項の中から、ア「音色、リズム、速度、強弱」とイ「問いと答え」について重点的に取り扱いたい。

8. 児童の実態

音楽に関する児童の実態を書いてください。3年生以上では、音楽に関するアンケートなどを実施することも可能だと思います。結果の分析があると、参観される先生方がイメージしやすいのではないかと考えます。

9. 本時の目標

イメージした思いを音楽の要素「音色」「リズム」「速さ」を生かし、表現することができる。

10. 本時の展開（3／5）学習内容

| | 学習内容 (共通事項を知覚・感受する場면을記述) | 教師の関わりと評価規準・具体的評価方法 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て ※指導の留意点 △目標に到達していない児童への支援 □具体的評価規準【 】評価方法 |
|----|---|--|
| 導入 | 1. 体ほぐし、音楽ゲームを楽しむ。 ・手拍子、ボディーパーカッションでリズム打ちをする。 2. 前時の振り返りをする。 3. 本時の学習の課題を知る。 | ☆リズムに合わせて、声の高さやリズムの変化を感じながら、表現をする。「旋律・音色・リズム・速さ」 ・グループごとに考えたリコーダーのメロディに他の楽器を加えていくことを確認する。 |

音の組み合わせを工夫して、イメージに合う音楽をつくろう。

| | | |
|----------------------|---|---|
| <p>展 開</p> | <p>4. グループで考えたイメージに合う楽器を選ぶ。</p> <p>5. 楽器を選んだ後に、リコーダーと合わせて試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな楽器の音色や響きに関心を持ち、音を探したり即興的に表現したりする。 <p>6. 決定した部分から、拡大ワークシートに記入していく。</p> <p>7. 中間発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作っている途中の曲を発表する。 | <p>☆楽器を自由に触れるように音楽室に並べておく。</p> <p>□自分たちのイメージに合う楽器を選んでいるか。</p> <p style="text-align: right;">【活動の様子】</p> <p>△正確な音楽表現でなくてもよいので、イメージに合う音の鳴らし方をしているか判断し、アドバイスをする。</p> <p>□自分たちのイメージをもとに、進んで創意工夫を働かせて、自分たちなりの表現活動を楽しんでいるか。</p> <p style="text-align: right;">【活動の様子】</p> <p>※拡大ワークシートを用意。グループごとに記入させる。 【活動の様子・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全グループではなく、2グループに途中の段階を発表してもらう。 <p>※代表して2グループほど発表の予定</p> <p>他のグループの工夫のよさや表現のよさを認め合う。</p> |
| <p>ま と め</p> | <p>8. 学習のまとめをする。</p> | |

本時の左側は、児童の活動が記されます。

- ・ …詳しい学習内容

1. 2. 3. …活動ごとに、数字1. 2. 3. で項目立てをする。

※共通事項を知覚・感受する場面には、番号に☆をつけます。

本時の右側は、教師の指示・支援・評価の欄です。

- ※…指導の留意点
- △…目標に到達していない児童への支援
- …具体の評価規準
- 【 】…評価の方法

11. 評価

- ① 自分たちのイメージをもとに、表現活動を進んで取り組んでいたか。【主体的に取り組む態度】
- ②イメージした森の情景を音楽の要素「音色」「リズム」「速さ」「問いと答え」を生かし、表現することができたか。

【思考・判断・表現】

